

地域医療連携室だより

令和5年8月夏・第34号
大阪市立十三市民病院

「泌尿器科」のご紹介

この4月1日より、大阪市立十三市民病院 泌尿器科部長 に着任しました
熊田憲彦（くまだ のりひこ）と申します。前任地である市立吹田市民病院腎臓泌尿器科では、20年余り尿路悪性腫瘍を中心とした一般泌尿器科と、蛋白尿から腎代替療法までの腎疾患及び急性血液浄化療法などに携わってきました。

今後は微力ながらも、当院を中心とした地域医療に少しでも貢献できればと考えていますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、ご存知のように、当院は5月8日コロナ感染症が5類に移行した日をもちまして、コロナ専門病院の看板を外し、地域の中核病院として各科とも診療体制を整備し、24時間体制での内科二次救急の再開、HCU病床を再稼働するなど精力的に取り組んでいます。

泌尿器科 としましては、コロナ以前と同様に尿路悪性腫瘍、尿路結石症、排尿障害に加えて保存期腎不全など、幅広い分野を対象に、積極的に精査及び治療をと考えています。

一方、腎代替療法や、多岐に亘る診療科との集学的治療など、当院では担いきれない診療に関しましては、同じく大阪市民病院機構に属する大阪市立総合医療センターと密に連携を取り、責任をもってその診療を完遂させていただきます。また今年度より「前立腺がん検診」の受付も始めました。

“十三市民病院に紹介しておけば間違いない”とだけ思っていただけの診療を目指し、努力していきますので、これまで通りご紹介いただければ幸いです。



尿路悪性腫瘍など生命予後に関わる疾患への対応が大切な事はいまでもありませんが、市民病院としては、多くの人のQOL低下を招く、いわゆる common disease への対応も重要であると考えております。その一つとして、多職種からなる排尿ケアチームで、多方面からアプローチすることが可能な当院での排尿障害への取り組みをご紹介します。



泌尿器科部長
熊田 憲彦

排尿ケア看護外来のご紹介

下記のような " おしっこ " のお困りごとについてご相談を受けています。

- ・ おしっこが思い通り出せず、もれる
- ・ おしっこに何回もいく、おしっこをしてもすっきりしない
- ・ 排泄について悩んでいるが、相談するところがない 等



排泄ケアに関する資格を有する看護師・理学療法士により行う内容

1. 排泄の状況を確認（排尿・排便・食事）
2. 水分・塩分などの摂取状況から生活改善へのアドバイス
3. 尿漏れの原因に合わせた指導
 - ① 骨盤底筋(こつぱんていきん)体操や排泄動作の指導
 - ② 膀胱におしっこをためる訓練・時間ごとの排尿訓練
4. 膀胱に残っているおしっこが多い時の対応
5. 排尿道具や社会資源の紹介



- 個室でゆっくり相談いただけます
- 排泄の困りごとを改善することは転倒予防や夜間の睡眠状態の改善につながります
- 皆様のご相談をお待ちしています



- ・排泄ケア看護外来日：月曜日、火曜日の午前中
- ・かかりつけ医で「泌尿器科宛て・看護外来希望」の紹介状を作成いただき、医療機関から地域医療連携室あてに、予約をお願いいたします。

糖尿病・内分泌内科医長兼内科医長

井坂 吉宏 (いさか よしひろ)



令和5年5月より糖尿病・内分泌内科医長兼内科医長として着任しました『井坂 吉宏(いさか よしひろ)』と申します。平成16年に大阪市立大学を卒業し、医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院で研修後、大阪市立総合医療センターでレジデントとして過ごしました。その後、心身医学領域に興味を持ち、九州大学で3年、国立病院機構福岡病院で2年間、心療内科医として研修および診療を行ってきました。平成27年から約6年間十三市民病院で診療を行っていましたが、令和3年2月より大阪市立総合医療センターに場を移しておりました。

当院では糖尿病チーム医療に重点を置いて診療を行っており、フットケア、栄養指導なども先生方の要望に添って対応させていただきますので、ご活用頂けたら幸いです。また当科は一般内科領域にも力を入れています。専門化した医療が主流の昨今、どの科に紹介すべきか迷うことも多々あるかと思いますが、どうぞ気軽にご相談ください。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

診療担当曜日・・・月曜午前・金曜午前

得意分野	糖尿病 脂質異常症	認定資格	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会専門医・指導医
------	--------------	------	--

糖尿病・内分泌内科シニアレジデント

高橋 尚子 (たかはし ひさこ)



令和5年4月より大阪市立十三市民病院 糖尿病・内分泌内科シニアレジデントとして着任いたしました『高橋 尚子(たかはし ひさこ)』と申します。

平成30年に和歌山県立医科大学を卒業し、大阪市立総合医療センターで初期研修、内科専攻医として後期研修を行い、今年で医師6年目となります。

これまでは、糖尿病と内分泌疾患を中心に、様々な内科疾患を抱えた患者さんの急性期治療を病棟や救急外来で担当させていただきました。十三市民病院では糖尿病や生活習慣病だけでなく、幅広い内科疾患を診させて頂き、患者さんやそのご家族とより近い関係を築きたいと思っております。

また、地域のクリニックの先生方とも密に連携をとり、市民の皆様により適切な医療を提供することに尽力していきたいと考えています。今後とも何卒よろしくお願い致します。

得意分野	糖尿病、生活習慣病
------	-----------

診療担当曜日・・・火曜午後

産婦人科医長

三田 育子 (みた いくこ)



令和5年6月より大阪市立十三市民病院産婦人科医長として着任致しました『三田 育子(みた いくこ)』と申します。

平成16年に熊本大学を卒業し、医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院にて初期研修修了後、大阪市立総合医療センター産婦人科にて後期研修を行い、産婦人科専門医を取得しました。その後、社会医療法人阪南中央病院産婦人科、大阪市立総合医療センター産科に勤務し、女性ヘルスケア、性感染症、若年妊娠、ハイリスク合併症妊娠等を主に診療に取り組んでおりました。

十三市民病院では産婦人科一般診療に加え、周産期医療、女性ヘルスケアの診療に対して力を入れていきたいと考えております。

女性の全てのライフステージにおけるQOLの維持、向上のために、十三市民病院で地域の皆様のお力になれるよう努めていく所存です。至らぬ点もあると思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

診療担当曜日・・・木曜午後

得意分野	産婦人科一般 ハイリスク妊娠	認定資格	日本産婦人科学会専門医 日本周産期・新生児医学会周産期専門医 日本性感染症学会認定医 母体保護法指定医
------	-------------------	------	--

第37回 十三臨床談話会のご案内〔十三地域連携カンファレンス〕

日時	内容	演者
8月31日 (木) 19:00～	『 当院での消化器癌に対するチーム医療-胃癌症例を中心に- 』	大阪市立十三市民病院 外科・消化器外科 貝崎 亮二 先生
	『 近未来の直腸癌治療を考える 』	大阪公立大学大学院医学研究科 消化器外科学 前田 清 先生

インスタはじめました

当院の診療やケアチームの活動、各部門の取り組み、セミナーの案内など医療機関の皆さまや市民の方のお役に立てる情報を発信していきます。よろしくお願いいたします。



編集 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-12-27

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室

代表電話：06-6150-8000 直通電話：06-6150-8067

<https://www.osakacity-hp.or.jp/juso/>

